

都賀地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年6月17日（火）午後1時50分～2時10分

会 場： 栃木市役所

事例数： 1ケース（12月17日検討した事例の振り返り）

参加者数： 10名

事例提供者1名、助言者7名、包括職員2名

独居で難聴や糖尿病がある95歳の男性
〈目標〉1日：転倒に注意して移動する。
1年：体を動かし、筋力を維持して健康を保つ。
利用サービス：訪問介護サービス

《前回会議での支援策》

支援方針：現在、下肢の痺れにより掃除などの家事が難しい状態になっているため、訪問介護の利用により、日常生活上の必要な支援を行いながら、出来ることは自身で行えるよう支援していく。

- ①難聴の方の受診は、医師の話がわからない、聞き取れない等の困り感が本人にあれば付き添いが必要。
- ②義歯は、義歯ブラシで毎食後に清掃をする。夜間は、きれいな状態の義歯をしたまま就寝すると良い。
- ③お口の筋力トレーニングのためにブクブクうがいを行うと良い。唾液腺マッサージや健口体操も良い。
- ④個人病院を予約なしで定期受診できているのであれば、服薬は出来ていると考えて良い。
- ⑤現在行っている自転車を継続し、散歩も取り入れると効果的。歩数計やカレンダーに記録し見える化することでモチベーションにも繋がる。
- ⑥糖尿病の血糖コントロールに対して、自転車は大腿部の筋力を使うため効果的なので続けて欲しい。水分摂取量や配食サービスの摂取量も確認できると、本人の栄養状態の把握ができる。
- ⑦男性が多く所属する団体があり、スポーツや研修旅行も行っているなので、参加すれば楽しめる。

《支援結果・状況》

- ①未達成：今後の認知機能や QOL 向上のためにも補聴器の使用を検討していけると良い。
- ②未達成：義歯清掃は1回/日で歯ブラシ使用で変わらず、ポリドント使用回数も変化なし。
- ③一部達成：毎食後うがいを実施できている。
- ④達成：残薬なく自身で服薬管理できている。
- ⑤達成：自転車は継続し、散歩も始めた。
- ⑥一部達成：自転車は継続できている。水分は意識して飲むことが出来ているが、配食は中止した。
- ⑦未達成：新しい団体には加入していないが、老人会に継続して参加している。